

測定する能力		
漢字・語彙力	論理的言語力	論理的読解力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」、指示語・接続語などを論理的に扱う力。	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。
	論理的思考力	論理的表現力
	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》

漢字・語彙力

(40点)

●解説

第一問

- (1) 所蔵 (2) 服従 (3) 蒸発
- (4) 収集 (5) 筋肉

第二問

- (1) 無根 (2) 後生 (3) 老若
- (4) 我田 (5) 温故

第三問

- (1) 高層 (2) 縦断 (3) 疑心
- (4) 簡単 (5) 討論

第四問

- (1) 困難なことが起きてもくじけない力がある。
- (2) 法律に従って政治を行うのは内閣の仕事だ。
- (3) 背景に空を入れると写真がきれいにとれる。
- (4) 沿道に集まった人に手をふった。
- (5) かのじよの部屋のインテリアは洗練されている。

■配点

第一問 各2点 第二問 各2点

第三問 各2点 第四問 各2点

◆解説

第一問

単漢字それぞれに意味があります。その単漢字を組み合わせることで、どのような意味の二字熟語になるのか。さらに文脈からふさわしいものを選んでいきましょう。

- (1) 「図書館」「本」に係る言葉。
- (2) 「主君」との関係を考えます。
- (3) 「水」がどうなると「雲」になるのか。
- (4) 「情報」は集めるものです。

(5) 人間の体の一部。

第二問

四字熟語の意味を考え、文脈にふさわしいものを選ぶこと。

- (1) 事実無根 (2) 後生大事
- (3) 老若男女 (4) 我田引水
- (5) 温故知新

第三問

漢字の基本的な使い方。文脈にふさわしい言葉を選んで、漢字に直す。

第四問

- (1) 「力があがる」が主語と述語。「困難」＋「な」、「こと」＋「が」、と自立語に付属語をつけて文節を作ります。
- (2) 述語は「内閣の仕事だ」、主語は「法律に従って政治を行うのは」。
- (3) 「背景に空を入れる」「写真がきれいとれる」と二文を作り、次にそれらを合わせて文を作ります。
- (4) 述語が「ふった」。「人に手をふった」と文の要点をつかみ、次に、「人」を説明する言葉を考えます。
- (5) 「インテリアは洗練されている」が主語と述語。後は、「インテリア」を説明する言葉を考えます。

《問題Ⅱ》

論理的言語力

(40点)

●解説

第一問

- ② 日本人 ③ 私たち

第二問

- ① あります ④ 人たち

第三問

- (a) オ (b) イ (c) ウ

第四問

- (1) ウ (2) ア (3) オ

■配点

第一問 各4点 第二問 各4点

第三問 各4点 第四問 各4点

◆解説

第一問

- 述語から主語を読み取る問題。
- ② だれが「している」のか。
- ③ 命を「いただいて」いるのは誰か。

第二問

- 「言葉のつながり」を考えます。
- ① 「日本語では」↓「あります」。何があるのかというと、「『ご飯ができた』ということが」。
- ④ 直前の「運ぶ人」「売る人」「運んだりする人」を受けて、「そうした人たち」。答えを「力が」にしないこと。

第三問

接続語は空前前後の論理的関係から考えます。

- (a) 直前が日本の家庭でのこと、直後が英語ではそういった言い方をしないとあるので、逆接「ところが」。
- (b) 話題を転換している、「では」。
- (c) 空所直前を根拠に、直後で結論を導き出している、因果関係を示す「だから」。

第四問

一文の構造を考えます。

- (1) 「姉は」↓「好きだ」が主語と述語。「私の」↓「姉は」、「何よりも」↓「好きだ」、「音楽の」↓「授業が」↓「好きだ」とつながります。
- (2) 「敬語は」↓「日本語だ」が主語と述語。「相手の」↓「気持ち」↓「くん」↓「日本語だ」、「美しい」↓「日本語だ」とつながります。
- (3) 「人たちが」↓「読まなくなっている」が主語と述語。「本を」↓「読まなくなっている」、「たいへん」↓「多くの」↓「人たちが」↓「読まなくなっている」とつ

なかります。

《問題Ⅲ》 論理的読解力 (40点)

●解答

- 第一問 ポチは
- 第二問 なぜこんな
- 第三問 人間
- 第四問 ポチがふざけなくなった(こと)。
- 第五問

- ア ○ イ × ウ × エ ×
- オ ○ カ × キ ○ ク ○

■配点

- 第一問 8点 第二問 8点
- 第二問 8点 第四問 8点
- 第五問 各1点

◆解説

- 第一問 ———線部の二文にはどちらも主語がありません。前文と主語が同じときに限って、主語は省略されます。

第二問

欠落文の「それ」が指している箇所を探します。「頭をなでてやったら、鼻の先をふるわしながら、目をつぶって頭をもち上げた」を受けて、欠落文の「それを見たら」とつながります。

第三問

直前のセリフが犬に対してのものかどうかに注意。

第四問

直前の「そんなことはちつともしなくなつた」を指します。「そんなこと」とは、さらに直前の「ふざける」ことです。主語が「ポチが」、述語が「ふざけなくなった」。

第五問

- イ 「前足を動かして立とうとしたが、どうしても立てないで、そのままねころんでしまった」とあるので、×。
- ウ 囲いを作ったのは、人夫たちだから、×。
- エ 後に残ったのは、ほくと妹だから、×。
- カ お母さんが無理に連れに来たので、×。

《問題Ⅳ》 論理的思考力 (40点)

●解答

- 第一問
 - (1) よく晴れたので、母といっしょに公園へ出かけた。
 - (2) お金をためて、前から欲しかった自転車を買った。

第二問

- (1) きつと・もらった
- (2) 明後日の・私の

第三問

ほくは真つ白で、砂糖菓子のような冬の富士山を正面に見た。

第四問

人間だけでなく、動物など弱いものが犠牲になるので戦争は二度とはいけません。

■配点

- 第一問 各5点 第二問 各6点
- 第三問 6点 第四問 12点

◆解説

- 第一問
 - (1) 述語が「出かけた」で、主語は省略。「よく晴れた」と「公園へ出かけた」が因果関係なので、「ので」でつながります。
 - (2) 「買った」が述語で、主語は省略。「お金を」↓「ためて」↓「買った」、「欲しかった」↓「自転車を」↓「買った」とつながります。

第二問

- (1) 「先生はあいさつの大切さを教えてくださいました。」となります。
- (2) 「私は国語の試験で大きなミスをした。」となります。

第三問

①が要点となるので、②を「富士山」を説明する語句に変形し、①に挿入します。

第四問

具体例を最後に一般化した「弱いものが犠牲になるのが戦争、こんな悲しい思いをもうしないためにも、戦争は二度とはいけません」が筆者の主張。

《問題Ⅴ》 論理的表現力 (40点)

●解答

- 第一問 通学路で見た宇宙船を追いかけると、宇宙人が神社の裏から出てきた。

第二問

宇宙人は目も口もあり、はだいろで人間と同じようだった。

第三問

通学路で見つけた宇宙船を追いかけると、神社の裏に入ってしまった。そこから宇宙人が出てきたので、びっくりして最初は動けなかったけど、宇宙人は人間と同じ姿をしていてあく手をしてくれたから、一緒に見に行こう。

■配点

- 第一問 10点 第二問 10点
- 第三問 20点

◆解説

- 第一問 男の子の話の順序がぐちゃぐちゃで、このままでは相手に伝わりません。「その前に宇宙船を見て追いかけた」「最初に通学路でみつけた」「宇宙人が神社の裏から出てきた」などを時間の順番に整理します。

第二問

「すべて」とあるので、「はだいろで人間と同じ」「宇宙人は目もあるし口もある」をまとめます。「話はしなかった」「あく手をしてくれた」は「様子」ではなく、「何をしたか」なので、答えにはふくめません。

第三問

時間的順番に整理し、筋道を立てて、文章を作成しましょう。最終結論は「早く行こう」で、その理由が「人間と同じに見えた」「あく手をしてくれた」です。